



2020 年 10 月 30 日

2020 年度 第 3 四半期 決算レポート

1-9 月累計実績（対 2019 年）

- ・ 売上収益は 2.5%減の 1 兆 5,921 億円
- ・ 為替一定調整後営業利益は、6.3%増の 4,798 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は、2.2%減の 4,415 億円
- ・ 営業利益は、11.4%減の 3,902 億円
- ・ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、18.4%減の 2,579 億円

2020 年今回見込（対前回見込）

- ・ 売上収益については 600 億円上方修正
- ・ 全社為替一定調整後営業利益については、300 億円の上方修正
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益（260 億円）・営業利益（420 億円）・親会社の所有者に帰属する当期利益（240 億円）を上方修正

財務数値の詳細については P.17「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺畠 正道 CEO コメント:

“新型コロナウイルス感染拡大の影響は長期化し、不確実性が高い状況が継続しています。

厳しい事業環境下においても、海外たばこ事業におけるシェア拡大・単価上昇効果に牽引され、為替一定ベースの全社調整後営業利益が増加するなど、JT グループの第 3 四半期累計実績は、底堅いファンダメンタルに支えられ力強いものとなりました。

通期業績予想についても、力強い実績に加え、優先順位に基づいた効率的な費用執行等により上方修正しており、この達成に自信を持っています。

不確実性の高い事業環境が継続する中、働き方を進化させるとともに、お客様の行動様式の変化に、製品、サービス両面でアジャイルに対応することができるよう、投資を継続してまいります。”

投資家説明会

投資家説明会（電話会議）は、2020年10月30日、東京時間 17時00分より日本語のみで行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。(<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>)

IAS 第 29 号 超インフレ会計適用について

当社グループは、IAS第29号に定められる要件に従い為替一定ベースの指標を除く上記の1-9月累計実績及び2020年今回見込について、会計上の調整を加えております。

超インフレの調整について

当社グループは、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要件に従い、超インフレ経済下にあるイラン及びスーダンの子会社の財務諸表について会計上の調整を加えており、当該子会社の財務諸表は期末日レートにより換算し、当社グループの連結財務諸表に反映しております。

従いまして、本資料における2020年度第3四半期累計及び第3四半期の全社連結実績並びに修正見込、同期間における海外たばこ事業実績及び修正見込、連結財政状態データにつきましては、本調整影響を含んだ数値を表示しております。なお、為替一定ベースの各指標につきましては、本調整影響は含まれておりません。

主要な指標における本調整の影響につきましては、下記をご参照ください。

全社/海外たばこ事業 実績

売上収益	: ▲114億円
調整後営業利益	: ▲78億円
四半期利益	: ▲18億円
(親会社所有者帰属)	

2020 年度 第 3 四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2019 年 7-9 月	2020 年 7-9 月	増減率	2019 年 1-9 月	2020 年 1-9 月	増減率
売上収益	5,752	5,619	-2.3%	16,337	15,921	-2.5%
調整後営業利益	1,637	1,539	-6.0%	4,515	4,415	-2.2%
営業利益	1,293	1,382	+6.9%	4,406	3,902	-11.4%
四半期利益（親会社所有者帰属）	897	855	-4.7%	3,161	2,579	-18.4%
為替一定ベース 調整後営業利益	1,637	1,706	+4.2%	4,515	4,798	+6.3%

2020 年 7-9 月

• 売上収益

売上収益については海外たばこ事業での売上収益が前年同期比微減にとどまったものの、国内たばこ事業、加工食品事業、医薬事業での減収に伴い、前年同期比 2.3%減の 5,619 億円となりました。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、加工食品事業における減少を、海外たばこ事業におけるポジティブな単価差/商品構成影響を中心とした増加、国内たばこ事業及び医薬事業での増加が上回り、前年同期比 4.2%増の 1,706 億円となりました。

一方、財務報告ベースでは、海外たばこ事業においてネガティブな為替影響を受けたことにより、6.0%減の 1,539 億円となりました。

• 営業利益

営業利益については、調整後営業利益の減益はあったものの、前年同期に計上した海外たばこ事業での事業運営体制の変革に伴う施策関連費用が剥落したことにより、前年同期比 6.9%増の 1,382 億円となりました。

• 親会社の所有者に帰属する四半期利益

四半期利益は、金融損益の悪化等により、前年同期比 4.7%減の 855 億円となりました。

2020 年 1-9 月

• 売上収益

売上収益については新型コロナウイルス感染拡大の影響も受けた国内たばこ事業及び加工食品事業に加えて、医薬事業における減収を、海外たばこ事業での増収が一部相殺したものの、前年同期比 2.5%減の 1 兆 5,921 億円となりました。なお、1-9 月期に発現した新型コロナウイルス感染拡大による影響は全社売上収益の 3%程度の▲450 億円程度と見立てています。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、ポジティブな単価差/商品構成影響等が発現した海外たばこ事業及び医薬事業における増加が、新型コロナウイルス感染拡大の影響も受けた国内たばこ事業及び加工食品事業での減少を上回り、前年同期比 6.3%増の 4,798 億円となりました。

一方、財務報告ベースにおいては、海外たばこ事業におけるネガティブな為替影響を堅調なパフォーマンスが相殺するには至らず、前年同期比 2.2%減の 4,415 億円となりました。

- **営業利益**

営業利益については、海外たばこ事業での増益があったものの、2019 年度に発生した医薬事業での一時金収入の剥落を主因に、前年同期比 11.4%減の 3,902 億円となりました。

- **親会社の所有者に帰属する四半期利益**

四半期利益は、営業利益の減益及び金融損益の悪化等により前年同期比 18.4%減の 2,579 億円となりました。

なお、当社グループは、IAS 第 29 号に定められる要件に従い、為替一定ベースの指標を除く上記の当年度実績について会計上の調整を加えております。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2019年 7-9月	2020年 7-9月	増減率	2019年 1-9月	2020年 1-9月	増減率
総販売数量	1,161	1,180	+1.6%	3,386	3,300	-2.6%
GFB 販売数量	739	770	+4.2%	2,102	2,132	+1.4%
自社たばこ製品売上収益 ¹	3,341	3,304	-1.1%	9,416	9,565	+1.6%
調整後営業利益 ¹	1,111	1,005	-9.5%	2,965	3,148	+6.2%
参考：ドルベース（百万ドル）						
自社たばこ製品売上収益 ¹	3,112	3,116	+0.1% (+6.8%)*	8,632	8,901	+3.1% (+8.5%)*
調整後営業利益 ¹	1,034	949	-8.3% (+5.5%)*	2,719	2,929	+7.7% (+19.0%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

2020年7-9月

• 販売数量及び市場シェア²

新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化し、渡航者数の減少による免税販売や例年観光客が多い市場におけるインバウンド消費への影響があったものの、総販売数量は、主に継続的なシェア伸長、及び複数市場におけるたばこ製品に対する国内消費の増加に伴い総需要が底堅く推移したことにより、前年同期比 1.6%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比 2.3%の増加となっています。GFB 販売数量は、キャメルの販売数量が 0.1%減少したものの、ウィンストン（+4.6%）、メビウス（+4.3%）、LD（+7.7%）の販売数量増加により、前年同期比 4.2%の増加となりました。3ヵ月平均市場シェアについてはカナダ・フランス・ドイツ・イタリア・フィリピン・ルーマニア・スペイン・台湾・英国といった市場で伸長を確認しています。

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益¹

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響があったものの、RRP への投資に加え、ネガティブな為替影響があったことにより、前年同期比でそれぞれ 1.1%、9.5%の減少となりました。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、カナダ・イラン・フィリピン・ポーランド・ルーマニア・スイス・台湾・トルコ・英国等の市場で発現した数量差影響+138 百万ドル及び、バングラデシュ・カナダ・ドイツ・カザフスタン・ルーマニア・ロシア等の市場で発現した単価差/商品構成影響+75 百万ドルにより、前年同期比で 6.8%の増加となりました。ドルベースの為替一定調整後営業利益については、数量差影響+103 百万ドル及び単価差/商品構成影響+66 百万ドルにより、前年同期比で 5.5%の増加となりました。財務報告ベースのドルベース自社たばこ製品売上収益は 0.1%増加し、財務報告ベースのドルベース調整後営業利益は 8.3%の減少となりました。

2020年1-9月

• 販売数量及び市場シェア²

総販売数量は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中、渡航者数の減少による免税販売や例年観光客が多い市場におけるインバウンド消費への影響及び、ロシア等複数市場における総需要減少により、前年同期比で 2.6%の減少となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン（+2.6%）、LD（+4.5%）の堅調なパフォーマンスが、キャメル（▲2.9%）とメビウス（▲3.0%）の減少を上回り、前年同期と比べ 1.4%増加しました。市場シェアは、カナダ・チェコ・フランス・ドイツ・イラン・アイルランド・イタリア・カザフスタン・フィリピン・ルーマニア・スペイン・スウェーデン・スイス・台湾・英国等の様々な市場で継続的に伸長しました。

・ **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益¹**

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響及び数量差影響がネガティブな為替影響を上回った結果、前年同期比でそれぞれ 1.6%、6.2%の増加となりました。
新型コロナウイルス感染拡大による自社たばこ製品売上収益への影響は、▲170 億円程度と見立てております。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、ドイツ・インドネシア・フィリピン・ルーマニア・ロシア等の市場で発現した単価差/商品構成影響+649 百万ドル及び、カナダ・フランス・ドイツ・イラン・ヨルダン・フィリピン・ポーランド・台湾・英国等の市場で発現した数量差影響+89 百万ドルにより、前年同期比 8.5%の増加となりました。ドルベースの為替一定調整後営業利益は、単価差/商品構成影響+635 百万ドル及び数量差影響+120 百万ドルにより、前年同期比で 19.0%増加しました。財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、それぞれ 3.1%、7.7%の増加となりました。

海外たばこ事業
クラスター別 四半期実績

South and West Europe

(億本, 百万ドル)	2019 年 7-9 月	2020 年 7-9 月	増減率
総販売数量	176	178	+1.3%
GFB 販売数量	144	151	+4.9%
自社たばこ製品売上収益	540	560	+3.8% (-1.2%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

・ **販売数量及び市場シェア²**

総販売数量は、市場シェアの伸長、及び複数市場におけるたばこ製品に対する国内消費の増加に伴い総需要が底堅く推移したことにより、前年同期比で 1.3%の増加となりました。GFB 販売数量は ウィンストン (+12.1%) が牽引し、4.9%増加しました。3 か月平均市場シェアはベルギー・フランス・ギリシャ・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸長しました。

・ **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、為替影響+27 百万ドルにより、前年同期比で 3.8%増加しました。為替影響を除いた場合は、スペインを中心に発現した数量差影響▲1 百万ドル及びダウントレーディングによる単価差/商品構成影響▲5 百万ドルにより、前年同期比で 1.2%の減少となっています。

・ **市場別実績²**

フランスにおける総販売数量、紙巻たばこ販売数量及び Fine cut の販売数量は、たばこ製品に対する国内消費の増加に伴い総需要が底堅く推移したこと及びウィンストンとキャメルに牽引され 3 か月平均市場シェアが伸長したこと (+3.5 パーセントポイント) がネガティブに作用した流通在庫調整の影響を上回り、前年同期比でそれぞれ 9.6%、11.2%、6.4%の増加となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、12.0%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響がネガティブな単価差/商品構成影響を上回り、前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量、紙巻たばこ販売数量、Fine cut の販売数量は前年同期比でそれぞれ、12.2% (流通在庫調整を除いた場合は 9.8%)、8.0%、19.0%増加しました。市場シェアは GFB が牽引し、前年同期と比べ 2.3 パーセントポイント増加し 26.1%となりました。

イタリアにおける総販売数量、紙巻たばこ販売数量及び Fine cut の販売数量は 3 か月平均市場シェアの伸長 (+1.6 パーセントポイント) により、前年同期比でそれぞれ 2.5%、1.8%、8.8%の増加となっています。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、ウィンストンの堅調なパフォーマンスにより、前年同期比で 7.3%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響がネガティブ

な単価差/商品構成影響を上回り、前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量、紙巻たばこ販売数量及び Fine Cut の販売数量はそれぞれ前年同期比 1.6%（流通在庫調整の影響を除いた場合は 1.2%）、0.3%、12.6%増加しました。市場シェアはウinstonの伸長により前年同期と比べ 1.0 パーセントポイント増加し 25.3%となっています。

スペインにおける総販売数量及び紙巻たばこ販売数量は、夏季の渡航者数の減少による総需要の減少及びネガティブに作用した流通在庫調整により、前年同期比でそれぞれ 5.0%、7.8%の減少となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、3 カ月平均市場シェアの伸長（+1.2 パーセントポイント）により、前年同期比 0.4%の減少に留まりました。Fine cut の販売数量は前年同期比 8.0%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益はネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。1-9 月期の累計総販売数量、紙巻たばこ販売数量は、Fine Cut の販売数量が 9.0%増加した一方で、それぞれ前年同期比 3.1%（流通在庫調整の影響を除いた場合は 2.3%）、6.0%の減少となりました。市場シェアはウinstonとキャメル伸長により前年同期と比べ 1.0 パーセントポイント増加し 26.3%となっています。

North and Central Europe

(億本, 百万ドル)	2019 年 7-9 月	2020 年 7-9 月	増減率
総販売数量	149	176	+18.2%
GFB 販売数量	77	94	+22.5%
自社たばこ製品売上収益	585	729	+24.6% (+19.5%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

販売数量及び市場シェア²

総販売数量は、オーストリア・チェコ・ドイツ・ハンガリー・アイルランド・ポーランド・スウェーデン・英国等での増加により前年同期比 18.2%の増加となりました。GFB 販売数量は、ウinston（+30.5%）、キャメル（+12.3%）、LD（+13.9%）が牽引し、22.5%増加しました。3 カ月平均市場シェアは、オーストリア・チェコ・ドイツ・ハンガリー・アイルランド・ポーランド・スウェーデン・英国で伸長しました。

自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、ポーランド及び英国等を中心に発現した数量差影響+110 百万ドル、単価差/商品構成影響+4 百万ドル及び、為替影響+30 百万ドルにより、前年同期比 24.6%の増加となりました。為替影響を除いた場合、前年同期比 19.5%の増加となりました。

市場別実績²

ドイツにおける総販売数量、たばこ販売数量及び Fine cut の販売数量は、たばこ製品に対する国内消費の増加に伴い総需要が底堅く推移したこと及び 3 カ月平均市場シェアの伸長（+0.7 パーセントポイント）により、前年同期比でそれぞれ 7.4%、2.2%、11.3%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益はポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期に比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量、たばこ販売数量及び Fine cut 販売数量は前年同期比でそれぞれ 9.0%、3.1%、13.4%増加しました。市場シェアはウinstonの伸長により、前年同期と比べ 0.5 パーセントポイント増加し 8.8%となりました。

英国における総販売数量、紙巻たばこ販売数量及び Fine cut の販売数量は、たばこ製品に対する国内消費の増加に伴う堅調な総需要動向及び 3 カ月平均市場シェアの伸長（+1.5 パーセントポイント）を受け、前年同期比でそれぞれ 17.3%、4.4%、33.4%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響がダウントレーディングによるネガティブな単価差/商品構成影響を上回り、増加しました。1-9 月期の累計総販売数量、たばこ販売数量及び Fine cut 販売数量は前年同期比でそれぞれ 15.7%、3.6%、31.2%増加しました。市場シェアは、主に紙巻たばこにおけるベンソン&ヘッジス Blue 及び Fine cut におけるスターリングの伸長により、前年同期と比べ 1.7 パーセントポイント増加し 44.8%となりました。

CIS+

(億本, 百万ドル)	2019 年 7-9 月	2020 年 7-9 月	増減率
総販売数量	357	341	-4.4%
GFB 販売数量	245	228	-6.6%
自社たばこ製品売上収益	796	779	-2.1% (+6.8%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア²

総販売数量及び GFB 販売数量は、ロシアにおける総需要の減少及びネガティブに作用した流通在庫の影響により、前年同期比でそれぞれ 4.4%、6.6%の減少となりました。3 ヶ月平均市場シェアはカザフスタン・ルーマニア・セルビア・ウクライナで伸長しました。

• 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、ロシアを中心に発現した単価差/商品構成影響+77 百万ドルがあったものの、数量差影響▲23 百万ドル及び為替影響▲71 百万ドルを相殺しきれず、前年同期比 2.1%の減少となりました。為替影響を除いた場合は、前年同期比 6.8%の増加となりました。

• 市場別実績²

ルーマニアにおける総販売数量は、たばこ製品に対する国内消費の増加に伴う堅調な総需要動向及び、3 ヶ月平均市場シェアの伸長（+1.2 パーセントポイント）により、前年同期に比べ 11.6%増加しました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響の発現により前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量は、前年同期比で 8.8%増加しました。市場シェアはウィンストンとソプラニーの伸長により前年同期と比べて 0.9 パーセントポイント増加し 28.7%に達しました。

ロシアにおける総販売数量は、RRP 市場の拡大等の影響により紙巻総需要³が 3.5%減少したと推定される中、一時的な不利な価格差の影響を受け、7-9 月期においても市場シェアが 1.2 パーセントポイント減少したことにより、前年同期比 6.6%の減少となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は前年同期比 4.8%の減少となりました。GFB 販売数量は、前述の理由により、8.0%減少しました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回り、前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量は、前年同期比で 9.0%減少し、流通在庫調整を除いた場合は、9.7%減少しました。市場シェアは、38.2%に減少しました。

Rest-of-the-World

(億本, 百万ドル)	2019 年 7-9 月	2020 年 7-9 月	増減率
総販売数量	479	485	+1.1%
GFB 販売数量	273	296	+8.2%
自社たばこ製品売上収益 ¹	1,190	1,047	-12.0% (+4.3%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア²

総販売数量は、渡航者数減少による免税販売への影響及び複数の新興市場における総需要の減少があったものの、市場シェア伸長により、前年同期比 1.1%の増加となりました。総販売数量は、主にブラジル・カンボジア・イラ

ン・ヨルダン・マレーシア・フィリピン・サウジアラビア・韓国・台湾・トルコ等において増加しました。GFB 販売数量は、ウィンストン（+9.2%）、メビウス（+3.6%）、LD（+32.0%）が牽引し、前年同期比 8.2%増加しました。3 カ月平均市場シェアは、ブラジル・カンボジア・カナダ・ヨルダン・マレーシア・フィリピン・シンガポール・韓国・スーダン・台湾・米国といった多くの市場で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益¹**

自社たばこ製品売上収益は、主にカナダ・イラン・フィリピン・台湾・トルコを中心に発現した数量差影響+52 百万ドルがあったものの、為替影響▲194 百万ドルを相殺しきれず、前年同期と比べ 12.0%の減少となりました。為替影響を除いた場合は前年同期比 4.3%の増加となりました。

- **市場別実績²**

イランにおける総販売数量は、ポジティブな総需要動向に加え、ポジティブに作用した流通在庫調整の影響により前年同期比でそれぞれ 5.7%の増加となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は前年同期比 5.2%増加しました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響の発現により増加しました。1-9 月期の累計総販売数量は、前年同期比で 8.4%増加し、流通在庫調整の影響を除いた場合は、8.2%増加しました。市場シェアはキャメル、マグナ、モンテカルロの伸長により、前年同期と比べ 1.4 パーセントポイント増加し 59.8%となりました。

台湾における総販売数量は、たばこ製品に対する国内消費の増加に伴う堅調な総需要動向に加え、GFB の 3 カ月平均市場シェアの伸長（+1.7 パーセントポイント）及びポジティブに作用した流通在庫調整の影響により、前年同期比で 21.4%の増加となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、前年同期比 20.2%増加しました。為替一定自社たばこ製品売上収益はポジティブな数量差影響がネガティブな単価差/商品構成影響を上回り、増加しました。1-9 月期の累計総販売数量は前年同期比で 11.1%増加しました。市場シェアは LD、メビウス、ウィンストンの伸長により、前年同期と比べ 2.5 パーセントポイント増加し 47.1%となりました。

トルコにおける総販売数量は、総需要が底堅く推移していること及びポジティブに作用した流通在庫調整の影響により、前年同期比 8.5%の増加となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、前年同期比 6.3%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響がネガティブな単価差/商品構成影響を相殺しきれず、減少しました。1-9 月期の累計総販売数量は、増税値上げの影響による昨年との不利な比較により、前年同期比で 10.5%減少しました。市場シェアは、前年同期と比べ 0.9 パーセントポイント減少し 26.6%となりました。

¹IAS 第 29 号に定められる要件に従い、為替一定ベースの指標を除く当年度実績について、会計上の調整を実施。

²出典：IRI, Logista, Nielsen 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2020 年 9 月時点の 12 カ月移動平均及び 3 カ月平均ベースで、対象は紙巻たばこ及び Fine cut。スヌースを除く。ブラジル・ドイツ・ハンガリー・イラン・カザフスタン・スペイン・スウェーデンに関するデータは 2020 年 8 月時点の 12 カ月移動平均及び 2 カ月平均ベース。12 カ月移動平均及び 3 カ月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期末時点の 12 カ月移動平均及び 3 カ月平均ベース。

³出典：JTI 内部データ。紙巻たばこを対象とする 2020 年 7-9 月期の対前年同一期間比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2019 年 7-9 月	2020 年 7-9 月	増減率	2019 年 1-9 月	2020 年 1-9 月	増減率
紙巻総需要 ⁴	334	330	-1.3%	946	900	-4.9%
紙巻販売数量	201	199	-1.1%	574	540	-5.9%
自社たばこ製品売上収益	1,535	1,460	-4.9%	4,358	3,948	-9.4%
調整後営業利益	562	572	+1.8%	1,654	1,390	-16.0%

2020 年 7-9 月

紙巻販売数量

紙巻総需要⁴は、2019 年 10 月と比べ 2020 年 10 月の定価改定の値上げ幅が大きかったことから、定価改定に先立つ駆け込み需要が前年同期比で増加したものの、RRP 市場の拡大、趨勢減、2019 年 10 月実施の定価改定及び規制影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響により、前年同期比 1.3%減の 330 億本となりました。

当社の紙巻販売数量は、定価改定前の需要増加の影響はあるものの、総需要の減少により、前年同期比 1.1%減の 199 億本となりました。

当社の紙巻シェア⁴については、低価格帯での競争継続はあるものの、ポートフォリオ強化が奏功したこと等もあり、前年同期比 0.1 パーセントポイント増の 60.2%となりました。なお、2020 年 4-6 月の市場シェアからは 0.2 パーセントポイント増となり、3 四半期連続でシェアが伸長しています。

RRP 販売実績

国内たばこ市場における RRP の市場占有率⁴は約 26%（出荷ベース）と推計しています。

当社の RRP 販売数量は、前年同期比 2 億本増の 12 億本となりました。実需ベースの当社の RRP カテゴリー内シェア⁴は約 11%と推計しております。

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量の減少影響▲14 億円、2019 年 10 月の消費税増税時に一部銘柄で価格を据え置いたことに起因する紙巻におけるネガティブな単価差影響▲9 億円、RRP 関連売上収益の減少及び国内免税・中国事業の販売減少等により、前年同期比 4.9%の減収となりました。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量の増加はあるものの、デバイス売上の減少を主因として、前年同期比 11 億円減の 167 億円となっております。

調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響▲11 億円、紙巻におけるネガティブな単価差影響▲9 億円に加え、RRP 関連売上収益の減少及び国内免税・中国事業の販売減少はあるものの、新型コロナウイルス感染拡大影響の長期化に伴う間接コストの大幅な減少及び優先順位に基づく効率的な経費執行により、前年同期比 1.8%の増益となりました。

2020 年 1-9 月

紙巻販売数量

紙巻総需要⁴は、2019 年 10 月と比べ 2020 年 10 月の定価改定の値上げ幅が大きかったことから、定価改定に先立つ駆け込み需要が前年同期比で増加したものの、RRP 市場の拡大、趨勢減、2019 年 10 月実施の定価改定及び規制影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大影響を受け、前年同期比 4.9%減の 900 億本となりました。

当社の紙巻販売数量は、総需要減少に加え、紙巻シェアの減少により前年同期比 5.9%減の 540 億本となりました。

当社の紙巻シェア⁴は、低価格帯での競争継続により、前年同期比 0.7 パーセントポイント減の 60.0%となりました。

- **RRP 販売実績**

国内たばこ市場における RRP の市場占有率⁴は約 25%（出荷ベース）と推計しています。

当社の RRP 販売数量は紙巻たばこ換算ベースで前年同期比 6 億本増加の 30 億本となりました。実需ベースの当社の RRP カテゴリー内シェア⁴は約 10%と推計しています。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量の減少影響▲218 億円、2019 年 10 月の消費税増税時に一部銘柄で価格を据え置いたことに起因する紙巻におけるネガティブな単価差▲31 億円に加え、RRP 関連売上収益の減少及び国内免税・中国事業の販売減少等により、前年同期比 9.4%の減収となりました。また、RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量の増加はあるものの、デバイス売上の減少を主因として、前年同期比 56 億円減の 426 億円となっております。なお、売上収益における新型コロナウイルス感染拡大による影響は▲200 億円程度と見立てており、うち国内免税・中国事業における影響が半分強を占めています。

調整後営業利益は、新型コロナウイルス感染拡大影響の長期化に伴い間接コストが大幅に減少したことに加え、優先順位に基づく効率的な経費執行を行ったものの、紙巻販売数量の減少影響▲179 億円、紙巻におけるネガティブな単価差▲31 億円、RRP 関連売上収益の減少及び国内免税・中国事業の販売減少、RRP 及びリトルシガーの販促強化により、前年同期比 16.0%の減益となりました。

⁴ 出典：JT 推計。当社公表の紙巻総需要及び紙巻シェアには、紙巻たばこに加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

医薬事業

(億円)	2019 年 7-9 月	2020 年 7-9 月	増減率	2019 年 1-9 月	2020 年 1-9 月	増減率
売上収益	215	203	-5.8%	633	575	-9.1%
調整後営業利益	21	47	+122.8%	78	126	+61.4%

2020 年 7-9 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、海外ロイヤリティ収入の減少等により、前年同期比 5.8%の減収となりました。

調整後営業利益については、海外ロイヤリティ収入の減少はあるものの、製造販売承認申請を行った開発品の試験終了等による研究開発費の減少及び当社子会社である鳥居薬品の増益により、前年同期比 26 億円の増益となりました。

2020 年 1-9 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

7-9 月期と同様の要因により、売上収益は前年同期比 9.1%の減収、調整後営業利益については前年同期比 48 億円の増益となりました。なお、新型コロナウイルス感染拡大によるトップラインへの影響は軽微となっております。

加工食品事業

(億円)	2019 年 7-9 月	2020 年 7-9 月	増減率	2019 年 1-9 月	2020 年 1-9 月	増減率
売上収益	393	367	-6.7%	1,148	1,086	-5.4%
調整後営業利益	13	5	-60.7%	29	9	-70.4%

2020 年 7-9 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、新型コロナウイルス感染拡大による影響が継続する中、冷食常温事業における家庭用製品の需要増による販売伸長はあるものの、冷食常温・調味料事業の外出向け製品及びベーカリー事業における需要減に伴う販売の減少により、前年同期比 6.7%の減収となりました。

調整後営業利益については、商品構成の改善はあるものの、売上収益の減少及び冷食常温事業における物流費の悪化により、前年同期比 8 億円の減益となりました。

2020 年 1-9 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

7-9 月期と同様の要因により、前年同期比で売上収益は 5.4%の減収、調整後営業利益については 20 億円の減益となりました。なお、新型コロナウイルス感染拡大によるトップライン影響は▲70 億円程度と見立てております。

2020 年度 第 3 四半期 全社及び事業別見込

全社見込

(億円)	2020 前回見込	2020 今回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	20,100	20,700	+600	-4.9%
調整後営業利益	4,570	4,830	+260	-6.4%
営業利益	4,220	4,640	+420	-7.6%
当期利益（親会社所有者帰属）	2,860	3,100	+240	-11.0%
為替一定ベース 調整後営業利益	5,090	5,390	+300	+4.5%

• **売上収益**

売上収益については、加工食品事業における下方修正はあるものの、海外たばこ事業及び医薬事業での上方修正を反映し、前回見込より 600 億円上方修正し、前年度比 4.9%減の 2 兆 700 億円を見込んでいます。

• **調整後営業利益**

調整後営業利益については、国内たばこ事業、海外たばこ事業及び医薬事業での上方修正を受け、為替一定ベースでは、前回見込より 300 億円上方修正し、前年度比 4.5%増の 5,390 億円、また、財務報告ベースについても 260 億円上方修正し、前年度比 6.4%減の 4,830 億円を見込んでいます。

• **営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益**

営業利益については、調整後営業利益の上方修正に加え、不動産売却益上振れを主因に、前回見込から 420 億円上方修正し、前年度比 7.6%減の 4,640 億円を見込んでいます。

親会社に帰属する当期利益については、営業利益の上方修正を金融損益の悪化が一部相殺し、前回見込から 240 億円上方修正の前年度比 11.0%減の 3,100 億円を見込んでいます。

なお、当社グループは、IAS 第 29 号に定められる要件に従い、為替一定ベースの指標を除く上記の 2020 年度今回見込について、会計上の調整を加えております。

事業別見込

海外たばこ事業

(億円)	2020 前回見込	2020 今回見込	対前回見込	対前年実績
総販売数量	約 6%の減少	約 4%の減少		
GFB 販売数量	約 3%の減少	約 1%の増加		
自社たばこ製品売上収益 ⁵	11,700	12,300	+600	-1.8%
調整後営業利益 ⁵	3,230	3,380	+150	-0.8%
参考：ドルベース（百万ドル）				
自社たばこ製品売上収益 ⁵	10,900	11,500	+600	+0.0% (+5.3%)*
調整後営業利益 ⁵	3,000	3,150	+150	+0.8% (+15.5%)*

*為替一定ドルベース 対前年度増減率

販売数量

総販売数量及び GFB 販売数量は、渡航者数の減少による免税販売への影響及び一部市場における総需要の減少は見込まれるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航者数の減少により、欧州市場におけるたばこ製品に対する国内の消費が増加していること及び好調なシェアパフォーマンスを織り込んだことに加え、複数の新興市場において販売数量が底堅く推移していることから、それぞれ上方修正しました。この結果、GFB 販売数量は約 1%の増加を見込む一方、総販売数量は約 4%の減少となる見込みです。

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

円ベースの自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益について、為替前提の見直しがネガティブに作用したものの、販売数量の上方修正により、前回見込よりそれぞれ 600 億円、150 億円上方修正し、前年度比で 1.8%、0.8%の減少となる見込みです。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、総販売数量の上方修正に伴い、前回見込より 500 百万ドル上方修正し、前年度比 5.3%の増加となる見込みです。為替一定ベースの調整後営業利益については、投資を継続するものの、為替一定ドルベースの自社たばこ製品売上収益の上方修正により、前回見込より 170 百万ドル上方修正し、前年度比 15.5%の増加を見込んでおります。財務報告ベースのドルベース自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、円ベースと同様の理由により上方修正し、それぞれ、前年度比同水準、並びに 0.8%の増加を見込んでいます。

⁵ IAS 第 29 号に定められる要件に従い、為替一定ベースの指標を除く 2020 年今回見込について、会計上の調整を実施。

国内たばこ事業

(億円)	2020 前回見込	2020 今回見込	対前回見込	対前年実績
紙巻総需要 ⁶	8%台半ばの減少	8%台前半の減少		
紙巻販売数量	8%台後半の減少	約 9%の減少		
自社たばこ製品売上収益	5,100	5,100	—	-10.4%
調整後営業利益	1,600	1,660	+60	-11.3%

• 販売数量

紙巻総需要⁶は、7-9 月の実績において新型コロナウイルス感染拡大影響及び規制影響が前回見込での見立てに対し底堅く推移したことに加え、2020 年 10 月の定価改定影響を精緻化したことを踏まえ、前年度比 8%台半ばの減少から 8%台前半の減少に上方修正いたします。RRP の市場占有率⁶については、想定をやや上回って推移しているものの、通年で 20%台半ばの水準に収まる見通しとなっており、ガイダンスについては変更ありません。この結果、たばこ総需要⁶は、前年度比約 5%の減少から 4%台半ばの減少に上方修正いたします。

当社の紙巻販売数量前提につきましては、低価格帯における競争の激化を受け、前年度比 8%台後半の減少から約 9%の減少に下方修正いたします。RRP 販売数量前提につきましては、第 3 四半期までの実績に鑑み、前回見込の 30 億本台後半を据え置きますが、この範囲内で若干の増加を見込んでおります。なお、低温加熱型の加熱式たばこ用デバイス「ブルーム・テック・プラス」から、コンパクトサイズの新モデル「ブルーム・テック・プラス・ウィズ」を 11 月より発売予定です。

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量前提の下方修正に加え、国内免税・中国事業における新型コロナウイルス感染拡大影響の長期化はあるものの、RRP 販売数量の増加等を踏まえ、前回見込からの変更はなく、前年度比 10.4%の減収を見込んでいます。

調整後営業利益については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中、国内免税・中国事業においてはこの影響を受け一方、間接コストが大幅に減少することに加え、優先順位に基づく効率的な経費執行を背景に、60 億円上方修正し、前年度比 11.3%の減益を見込んでいます。

⁶ 出典：JT 推計。当社公表のたばこ総需要及び紙巻総需要には、紙巻たばこに加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

医薬事業

(億円)	2020 前回見込	2020 今回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	760	780	+20	-11.9%
調整後営業利益	130	160	+30	+0.4%

- **売上収益及び調整後営業利益**

売上収益は、前回見込を上回る海外ロイヤリティ収入の推移を織り込んだことにより、20 億円上方修正し、前年度比 11.9%の減収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益の上方修正に加えて、新型コロナウイルス感染拡大に伴うオペレーションの制限による、研究開発費の減少及び鳥居薬品の経費減等を背景に、30 億円上方修正し、前年度同水準を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2020 前回見込	2020 今回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	1,530	1,510	-20	-4.8%
調整後営業利益	30	30	—	-44.8%

- **売上収益及び調整後営業利益**

売上収益については、新型コロナウイルス感染拡大影響を受けた冷食常温事業における外食向け製品の一部分が、前回見込の水準から回復が遅れていることを背景に、20 億円下方修正し、前年度比 4.8%の減収を見込んでいます。

調整後営業利益については、売上収益の下方修正はあるものの、コスト低減の取り組みによるトップライン影響の緩和等を背景に、前回見込からの変更はなく、前年度比 24 億円の減益を見込んでいます。

データシート

2020年 Q3実績（累計）

1. 全社業績ハイライト

（単位：億円）

	2019 Q3累計	2020 Q3累計	増減	増減率
売上収益	16,337	15,921	-417	-2.5%
営業利益	4,406	3,902	-504	-11.4%
調整後営業利益	4,515	4,415	-100	-2.2%
税引前利益	4,116	3,456	-660	-16.0%
四半期利益	3,288	2,596	-692	-21.0%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,161	2,579	-582	-18.4%
基本的EPS*（円）	177.83	145.40	-32.43	-18.2%

*親会社の所有者に帰属する四半期利益を基に算定

（参考） 全社

（単位：億円）

	2019 Q3累計	2020 Q3累計	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	4,515	4,798	+283	+6.3%

2. 事業セグメント別実績

（単位：億円）

	2019 Q3累計	2020 Q3累計	増減	増減率
売上収益	16,337	15,921	-417	-2.5%
国内たばこ事業	4,664	4,252	-413	-8.9%
自社たばこ製品売上収益	4,358	3,948	-410	-9.4%
海外たばこ事業	9,847	9,987	+140	+1.4%
自社たばこ製品売上収益	9,416	9,565	+149	+1.6%
医薬事業	633	575	-58	-9.1%
加工食品事業	1,148	1,086	-62	-5.4%
その他	46	21	-24	-53.5%
全社 営業利益	4,406	3,902	-504	-11.4%
国内たばこ事業	1,532	1,268	-264	-17.2%
海外たばこ事業	2,397	2,761	+365	+15.2%
医薬事業	648	119	-529	-81.6%
加工食品事業	31	9	-22	-72.2%
その他/消去	-202	-256	-54	-
調整合計	-109	-514	-404	-
国内たばこ事業	-122	-122	-0	-
海外たばこ事業	-568	-387	+181	-
医薬事業	570	-7	-577	-
加工食品事業	2	0	-2	-
その他/消去	9	2	-7	-
全社 調整後営業利益	4,515	4,415	-100	-2.2%
国内たばこ事業	1,654	1,390	-264	-16.0%
海外たばこ事業	2,965	3,148	+183	+6.2%
医薬事業	78	126	+48	+61.4%
加工食品事業	29	9	-20	-70.4%
その他/消去	-210	-258	-47	-

（参考） 海外たばこ事業 ドルベース

（単位：百万ドル）

	2019 Q3累計	2020 Q3累計	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	8,632	8,901	+269	+3.1%
為替一定自社たばこ製品売上収益	8,632	9,370	+738	+8.5%
調整後営業利益	2,719	2,929	+210	+7.7%
為替一定調整後営業利益	2,719	3,235	+516	+19.0%

2020年 Q3実績（累計）

3. 減価償却費及び償却費*

（単位：億円）

	2019 Q3累計	2020 Q3累計	増減
全社 減価償却費及び償却費	1,246	1,204	-42
国内たばこ事業	416	398	-18
海外たばこ事業	723	703	-20
医薬事業	42	38	-4
加工食品事業	50	50	-
その他/消去	15	15	-

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

（単位：億円）

	2019年12月末	2020年9月末	増減
資産合計	55,531	52,437	-3,093
資本合計	27,436	25,136	-2,300
親会社の所有者に帰属する持分	26,627	24,343	-2,284
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	1,501.12	1,372.01	-129.11

5. 手元流動性及び有利子負債

（単位：億円）

	2019年12月末	2020年9月末	増減
手元流動性	3,758	4,681	+923
有利子負債	9,745	10,355	+610

6. 連結キャッシュフロー・データ

（単位：億円）

	2019 Q3累計	2020 Q3累計	増減
営業キャッシュフロー	2,578	3,982	+1,404
投資キャッシュフロー	-1,248	-436	+812
財務キャッシュフロー	-2,234	-2,082	+153
現金及び現金同等物の期首残高	2,821	3,572	+751
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-100	-454	-355
現金及び現金同等物の期末残高	1,817	4,581	+2,765
FCF	1,347	3,381	+2,034

7. 資本的支出

（単位：億円）

	2019 Q3累計	2020 Q3累計	増減
資本的支出	880	743	-137
国内たばこ事業	256	128	-128
海外たばこ事業	501	405	-96
医薬事業	49	83	+34
加工食品事業	38	61	+23
その他/消去	37	67	+30

8. 為替

	2019 Q3累計	2020 Q3累計	増減	増減率
USドル/円	109.12	107.55	-1.57	1.4%高
USドル/RUB	65.08	70.69	+5.60	7.9%安
USドル/GBP	0.79	0.79	+0.00	0.2%安
USドル/EUR	0.89	0.89	+0.00	0.1%安
USドル/CHF	1.00	0.95	-0.04	4.7%高
USドル/TWD	31.03	29.79	-1.24	4.2%高
USドル/TRY	5.63	6.72	+1.09	16.2%安
USドル/IRR	102,297		*	

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表をUSドルへ換算する際には2020年9月末日レートを採用。

また、USドルから日本円へ換算する際も同様のレートを採用。（USドル/IRR：253,917、USドル/円：105.80）

2020年度 修正見込
(2020/10/30公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	21,756	20,700	-1,056	-4.9%
営業利益	5,024	4,640	-384	-7.6%
調整後営業利益	5,159	4,830	-329	-6.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,482	3,100	-382	-11.0%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,159	5,390	+231	+4.5%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
基本的EPS*	195.97	174.73	-21.23	-10.8%
1株当たり配当金	154	154	-	-
ROE*	13.2%	12.0%	-1.1%pt	

*基本的EPS/ROEは親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	21,756	20,700	-1,056	-4.9%
国内たばこ事業	6,115	5,500	-615	-10.1%
自社たばこ製品売上収益	5,689	5,100	-589	-10.4%
海外たばこ事業	13,109	12,900	-209	-1.6%
自社たばこ製品売上収益	12,530	12,300	-230	-1.8%
医薬事業	885	780	-105	-11.9%
加工食品事業	1,586	1,510	-76	-4.8%
その他	61	30	-31	-51.1%
全社 営業利益	5,024	4,640	-384	-7.6%
国内たばこ事業	1,710	1,500	-210	-12.3%
海外たばこ事業	2,740	2,930	+190	+6.9%
医薬事業	727	150	-577	-79.4%
加工食品事業	55	30	-25	-45.7%
その他/消去	-208	30	+238	-
全社 調整後営業利益	5,159	4,830	-329	-6.4%
国内たばこ事業	1,872	1,660	-212	-11.3%
海外たばこ事業	3,408	3,380	-28	-0.8%
医薬事業	159	160	+1	+0.4%
加工食品事業	54	30	-24	-44.8%
その他/消去	-334	-400	-66	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,496	11,500	+4	+0.0%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,496	12,100	+604	+5.3%
調整後営業利益	3,126	3,150	+24	+0.8%
為替一定調整後営業利益	3,126	3,610	+484	+15.5%

**2020年度 修正見込
(2020/10/30公表)**

4. FCF

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減
FCF	4,042	4,150	+108

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減
資本的支出	1,314	1,200	-114
国内たばこ事業	348	240	-108
海外たばこ事業	783	680	-103
医薬事業	70	100	+30
加工食品事業	61	110	+49
その他/消去	52	70	+18

6. 業績予想の主な前提条件

- 国内たばこ事業
 - ・ 2020年の国内たばこ総需要(自社推計)：対前年で4%台半ばの減少(2019年の国内たばこ総需要は推計1,619億本)
 - ・ 2020年の国内紙巻たばこ総需要(自社推計)：対前年で8%台前半の減少(2019年の国内紙巻たばこ総需要は1,251億本)
 - ・ 2020年のJT紙巻販売数量：対前年で約9%の減少(2019年のJT紙巻販売数量は755億本)
 - ・ RRP市場占有率(自社推計,出荷ベース)：2020年は通年で20%台半ば(2019年は通年で約23%)
 - ・ 2020年のJT RRP販売数量：紙巻換算で30億本台後半
- 海外たばこ事業
 - ・ 2020年の総販売数量：対前年で約4%の減少(2019年の総販売数量は4,458億本)
 - ・ 2020年のGFB販売数量：対前年で約1%の増加(2019年のGFB販売数量は2,770億本)

<為替前提レート>

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
USドル/円	109.03	106.93	-2.10	1.9%高
USドル/RUB	64.74	72.70	+7.96	10.9%安
USドル/GBP	0.78	0.78	-0.00	0.5%高
USドル/EUR	0.89	0.88	-0.01	1.5%高
USドル/CHF	0.99	0.94	-0.05	5.7%高
USドル/TWD	30.90	29.90	-1.00	3.3%高
USドル/TRY	5.67	7.00	+1.33	19.0%安
USドル/IRR	104,046	*		

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表をUSドルへ換算する際には、一定の前提のもとで算出した2020年12月末日レートを適用。また、USドルから日本円へ換算する際も同様のレートを適用。

2020年度 修正見込 vs 前回見込
(2020/10/30公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2020年度 前回見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	20,100	20,700	+600	+3.0%
営業利益	4,220	4,640	+420	+10.0%
調整後営業利益	4,570	4,830	+260	+5.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,860	3,100	+240	+8.4%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2020年度 前回見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,090	5,390	+300	+5.9%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2020年度 前回見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
基本的EPS	161.21	174.73	+13.53	+8.4%
1株当たり配当金	154	154	-	-
ROE（親会社所有者帰属持分当期利益ベース）	11.2%	12.0%	0.9%pt	

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2020年度 前回見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	20,100	20,700	+600	+3.0%
国内たばこ事業	5,500	5,500	-	-
自社たばこ製品売上収益	5,100	5,100	-	-
海外たばこ事業	12,300	12,900	+600	+4.9%
自社たばこ製品売上収益	11,700	12,300	+600	+5.1%
医薬事業	760	780	+20	+2.6%
加工食品事業	1,530	1,510	-20	-1.3%
その他	30	30	-	-
全社 営業利益	4,220	4,640	+420	+10.0%
国内たばこ事業	1,440	1,500	+60	+4.2%
海外たばこ事業	2,730	2,930	+200	+7.3%
医薬事業	120	150	+30	+25.0%
加工食品事業	30	30	-	-
その他/消去	-100	30	+130	-
全社 調整後営業利益	4,570	4,830	+260	+5.7%
国内たばこ事業	1,600	1,660	+60	+3.8%
海外たばこ事業	3,230	3,380	+150	+4.6%
医薬事業	130	160	+30	+23.1%
加工食品事業	30	30	-	-
その他/消去	-420	-400	+20	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2020年度 前回見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	10,900	11,500	+600	+5.5%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,600	12,100	+500	+4.3%
調整後営業利益	3,000	3,150	+150	+5.0%
為替一定調整後営業利益	3,440	3,610	+170	+4.9%

2020年度 修正見込 vs 前回見込
(2020/10/30公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2020年度 前回見込	2020年度 修正見込	増減
FCF	3,500	4,150	+650

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2020年度 前回見込	2020年度 修正見込	増減
資本的支出	1,230	1,200	-30
国内たばこ事業	260	240	-20
海外たばこ事業	680	680	-
医薬事業	90	100	+10
加工食品事業	110	110	-
その他/消去	90	70	-20

6. 2020年度業績予想の主な前提条件の修正 (vs 2019年度実績)

国内たばこ事業	前回見込	修正見込
たばこ総需要*	約5%の減少	4%台半ばの減少
紙巻総需要*	8%台半ばの減少	8%台前半の減少
RRP市場占有率*	20%台半ば	
JT紙巻販売数量	8%台後半の減少	約9%の減少
JT RRP販売数量	30億本台後半	

*JT推計、通年・出荷ベース

海外たばこ事業	前回見込	修正見込
総販売数量	約6%の減少	約4%の減少
GFB販売数量	約3%の減少	約1%の増加

<為替前提レート>

	2020年度 前回見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
USドル/円	107.62	106.93	-0.69	0.6%高
USドル/RUB	71.40	72.70	+1.30	1.8%安
USドル/GBP	0.81	0.78	-0.03	3.8%高
USドル/EUR	0.92	0.88	-0.04	4.5%高
USドル/CHF	0.97	0.94	-0.03	3.2%高
USドル/TWD	30.00	29.90	-0.10	0.3%高
USドル/TRY	6.80	7.00	+0.20	2.9%安
USドル/IRR	156,000	*		

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表をUSドルへ換算する際には、一定の前提のもとで算出した

2020年12月末日レートを適用。また、USドルから日本円へ換算する際も同様のレートを適用。

<為替感応度>

前提レートからの為替変動が利益に与える影響：2020年調整後営業利益（修正見込）3,150百万ドル（算定ベース）

・ドルに対して円以外の全ての通貨が、2020年修正前提レートに対して同じ方向に1%変動すると、2020年ドルベースAOPが52百万ドル程度変動

・52百万ドル程度の変動を構成する主な通貨および内訳

RUB 25%程度、GBP 20%程度、TWD 15%程度、EUR 10%弱、TRY 5%弱、CHF -10%程度

・円換算時は円がドルに対して1円変動すると、円ベース調整後営業利益が32億円程度変動

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー（累計）

*IAS第29号に定められる要件に従い、為替一定ベースの指標を除く当年度の財務実績について、会計上の調整を実施

	2019Q3	2020Q3	増減	増減率	
総販売数量	3,386	3,300	-87	-2.6%	億本
GFB販売数量	2,102	2,132	+30	+1.4%	億本
自社たばこ製品売上収益	9,416	9,565	+149	+1.6%	億円
調整後営業利益	2,965	3,148	+183	+6.2%	億円

【参考：ドルベース】

自社たばこ製品売上収益	8,632	8,901	+269	+3.1%	百万ドル
調整後営業利益	2,719	2,929	+210	+7.7%	百万ドル
為替一定ベース					
自社たばこ製品売上収益	8,632	9,370	+738	+8.5%	百万ドル
調整後営業利益	2,719	3,235	+516	+19.0%	百万ドル

・クラスター別構成比（前年同期比）

（億本/百万ドル）

財務報告ベース

2020Q3	総販売数量		GFB販売数量		自社たばこ製品売上収益	
SWE	518	+1.9%	434	+5.0%	1,599	+1.8%
NCE	475	+13.1%	249	+16.7%	1,885	+16.0%
CIS+	929	-6.3%	627	-8.7%	2,130	+1.6%
RoW	1,378	-6.1%	822	+4.3%	3,286	-1.6%
Total	3,300		2,132		8,901	

2. クラスター/市場別 総販売数量（前年同期比）

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+6.7%	-2.2%	+1.3%		+1.9%
France	+5.7%	+20.9%	+9.6%		+12.2%
Italy	+9.8%	-7.6%	+2.5%		+1.6%
Spain	+14.3%	-18.3%	-5.0%		-3.1%
NCE	+9.9%	+10.7%	+18.2%		+13.1%
Germany	+7.8%	+11.7%	+7.4%		+9.0%
UK	+9.9%	+19.5%	+17.3%		+15.7%
CIS+	-2.7%	-10.9%	-4.4%		-6.3%
Romania	+16.8%	-1.1%	+11.6%		+8.8%
Russia	-5.7%	-13.7%	-6.6%		-9.0%
RoW	-4.7%	-14.2%	+1.1%		-6.1%
Iran	+14.1%	+5.6%	+5.7%		+8.4%
Taiwan	+2.5%	+9.5%	+21.4%		+11.1%
Turkey	-11.8%	-25.9%	+8.5%		-10.5%
Total	-0.6%	-8.5%	+1.6%		-2.6%

3. ブランド別 GFB販売数量（前年同期比）

（億本）

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston	377	391	436		1,204
	+5.7%	-2.3%	+4.6%		+2.6%
Camel	144	130	151		425
	+3.4%	-11.7%	-0.1%		-2.9%
MEVIUS	39	36	41		116
	-1.0%	-11.9%	+4.3%		-3.0%
LD	115	131	142		388
	+5.9%	+0.1%	+7.7%		+4.5%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

4. クラスター/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+7.8%	+2.2%	+4.9%		+5.0%
France	+5.8%	+26.2%	+12.5%		+14.9%
Italy	+12.2%	-7.6%	+5.1%		+3.3%
Spain	+14.6%	-11.0%	-0.1%		+1.3%
NCE	+17.1%	+10.3%	+22.5%		+16.7%
Germany	+23.9%	+17.5%	+9.1%		+16.3%
UK	-23.9%	-14.0%	-14.1%		-17.3%
CIS+	-7.6%	-11.7%	-6.6%		-8.7%
Romania	+14.1%	-2.5%	+8.7%		+6.5%
Russia	-16.0%	-11.7%	-8.0%		-11.6%
RoW	+9.9%	-4.9%	+8.2%		+4.3%
Iran	+19.3%	+6.3%	+9.2%		+11.5%
Taiwan	+1.8%	+7.4%	+19.4%		+9.5%
Turkey	-8.7%	-24.1%	+13.5%		-7.5%
Total	+4.8%	-4.4%	+4.2%		+1.4%

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均			
	2019 9月	2020 9月	増減	2019 Q3	2019 Q4	2020 Q1	2020 Q2
France	23.9%	26.1%	+2.3%pt	24.1%	24.4%	25.1%	27.2%
Italy	24.4%	25.3%	+1.0%pt	24.6%	24.6%	25.1%	25.3%
Russia	39.1%	38.2%	-0.9%pt	39.1%	38.4%	38.4%	38.2%
Spain*	25.3%	26.3%	+1.0%pt	25.7%	26.1%	26.0%	26.2%
Taiwan	44.6%	47.1%	+2.5%pt	45.4%	46.1%	46.8%	47.4%
Turkey	27.5%	26.6%	-0.9%pt	26.9%	26.6%	26.9%	26.4%
UK	43.0%	44.8%	+1.7%pt	43.8%	44.3%	44.3%	44.9%

Source: IRI, Nielsen, Logista / 出典元の過去データ修正も反映しています。

*2020年8月時点の、12ヵ月移動平均および2ヵ月平均を採用しております。

6. クラスター別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	559	498	534		1,591
	+9.3%	-4.1%	-1.2%		+1.3%
NCE	563	630	699		1,892
	+16.8%	+12.8%	+19.5%		+16.4%
CIS+	646	782	850		2,278
	+17.7%	+3.9%	+6.8%		+8.6%
RoW	1,201	1,166	1,241		3,609
	+13.3%	+7.2%	+4.3%		+8.1%
Total	2,969	3,076	3,325		9,370
	+14.1%	+5.4%	+6.8%		+8.5%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

*IAS第29号の適用に伴い、下表の為替一定ベースの指標を除く当年度のQ3及び累計財務実績について、会計上の調整を実施
なお、為替影響には、従来の為替影響に加え、上記調整影響を含む

・ドルベース					(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019	2,602	2,919	3,112		8,632
数量差	+62	-111	+138		+89
価格差/Mix	+305	+269	+75		+649
2020 為替一定	2,969	3,076	3,325		9,370
FX	-102	-159	-208		-469
2020	2,866	2,918	3,116		8,901

・円ベース					(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019	2,868	3,207	3,341		9,416
Operations	+404	+173	+229		+807
現地通貨 vs. 米ドル	-113	-174	-230		-517
円 vs. 米ドル	-39	-66	-35		-140
2020	3,120	3,140	3,304		9,565

8. 要因別 調整後営業利益実績

*IAS第29号の適用に伴い、下表の為替一定ベースの指標を除く当年度のQ3及び累計財務実績について、会計上の調整を実施
なお、為替影響には、従来の為替影響に加え、上記調整影響を含む

・ドルベース					(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019	809	876	1,034		2,719
数量差	+49	-32	+103		+120
価格差/Mix	+299	+270	+66		+635
その他	-110	-16	-113		-239
2020 為替一定	1,047	1,097	1,091		3,235
FX	-91	-73	-142		-306
2020	956	1,025	949		2,929

・円ベース					(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019	892	962	1,111		2,965
Operations	+262	+244	+61		+566
現地通貨 vs. 米ドル	-100	-80	-153		-333
円 vs. 米ドル	-13	-23	-14		-50
2020	1,041	1,103	1,005		3,148

9. 実績為替レート (前年同期比)

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
USD/ドル/RUB	66.33 0.3%安	72.15 10.5%安	73.58 12.2%安		70.69 7.9%安
USD/ドル/GBP	0.78 1.7%安	0.81 3.4%安	0.78 4.6%高		0.79 0.2%安
USD/ドル/EUR	0.91 2.9%安	0.91 2.0%安	0.86 5.0%高		0.89 0.1%安
USD/ドル/CHF	0.97 3.0%高	0.96 4.1%高	0.92 7.1%高		0.95 4.7%高
USD/ドル/TWD	30.11 2.4%高	29.91 4.0%高	29.35 6.2%高		29.79 4.2%高
USD/ドル/TRY	6.10 12.1%安	6.86 14.4%安	7.21 21.5%安		6.72 16.2%安
USD/ドル/IRR	128,673 31.3%安	150,740 30.6%安	*		*
USD/ドル/JPY	108.86 1.2%高	107.63 2.1%高	106.23 1.1%高		107.55 1.4%高

現地通貨 vs USD増減率: (前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

円 vs USD増減率: (各期のレート/前年同期のレート) -1で算出

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*IAS第29号に定められる要件に従い、Q3及び累計財務実績について、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表をUSDへ換算する際には2020年9月末日レートを適用。

また、USDから日本円へ換算する際も同様のレートを適用。(USD/IRR: 253,917、USD/円: 105.80)

たばこ事業データ

国内たばこ事業

1. サマリー（累計）

	2019 Q3	2020 Q3	増減	増減率	
紙巻たばこ総需要（自社推計）	946	900	-46	-4.9%	億本
紙巻販売数量	574	540	-34	-5.9%	億本
紙巻販売数量には国内免税販売分・中国事業部分（2019年Q3実績：31億本、2020年Q3実績：13億本）およびRRP販売数量を含んでいません					
自社たばこ製品売上収益	4,358	3,948	-410	-9.4%	億円
調整後営業利益	1,654	1,390	-264	-16.0%	億円

2. 紙巻販売数量

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019	179	194	201	181	755
2020	172	170	199		
前年同期比増減率	-4.2%	-12.6%	-1.1%		

3. 紙巻千本当売上収益

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019	6,407	6,391	6,414	6,306	6,380
2020	6,326	6,344	6,369		

千本当売上収益 = {販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税（国税） - たばこ税（地方税） - たばこ特別税（国税）} / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別RRP製品関連計数

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020					
RRP販売数量	9	9	12		30
RRP関連売上収益	130	130	167		426

5. 要因別 財務実績

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
自社たばこ製品売上収益					
2019	1,335	1,489	1,535		4,358
紙巻数量差	-48	-156	-14		-218
紙巻単価差	-14	-8	-9		-31
RRP/その他	-15	-94	-53		-162
2020	1,258	1,230	1,460		3,948
調整後営業利益					
2019	510	582	562		1,654
紙巻数量差	-39	-129	-11		-179
紙巻単価差	-14	-8	-9		-31
RRP/その他	-25	-59	+30		-54
2020	432	386	572		1,390

6. 紙巻シェア（出典 自社推計）

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
JT Total					
2019	61.0	61.0	60.1	59.3	60.4
2020	59.7	60.1	60.2		
MEVIUS					
2019	30.3	30.6	30.3	29.5	30.2
2020	28.9	28.8	28.9		
Winston					
2019	7.8	7.8	7.4	7.5	7.6
2020	7.3	7.3	7.3		
Seven Stars					
2019	7.9	7.8	7.8	7.6	7.8
2020	7.5	7.5	7.6		
Natural American Spirit					
2019	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0
2020	2.0	2.0	1.9		

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2020年10月30日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTZ-951 (enarodustat)	腎性貧血 /経口	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、 造血刺激ホルモンであるエリスロポエチ ンの産生を促し、赤血球を増加させる	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-052 (delgocitinib)	小児アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAK を阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	申請中 (国内)	自社品	・鳥居薬品と共同開発
	乳幼児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase3 (国内)		・鳥居薬品と共同開発
	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用			Phase1 (国内)		
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (海外)	自社品	
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を 担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase2 (海外)	自社品	
	自己免疫・アレルギー疾患 /外用			Phase1 (国内)		
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、高血糖を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及 び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-761	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担 うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-751 (クエン酸第二鉄水 和物)	鉄欠乏性貧血 /経口	経口鉄剤	鉄が消化管から吸収され、 体内で赤血球中のヘモグロビンの成分と して使用され、鉄欠乏性貧血を改善する	申請中 (国内)	導入品	・Keryx Biopharmaceuticals 社からの導入 ・鳥居薬品と共同開発 ・効能追加として開発

・開発段階の表記は投薬開始を基準とする

・掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEK の働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免 疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰 な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであ るエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させ る	

前回公表時(2020年7月31日)からの変更点

・JTZ-951(腎性貧血): 腎性貧血治療薬「エナロイ®錠2 mg、4 mg」の日本国内における製造販売承認取得(2020年9月25日)

・JTE-052(乳幼児アトピー性皮膚炎): 国内Phase3開始

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラチャリング収益及び費用等
為替一定ベース調整後営業利益（全社）	海外たばこ事業における四半期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量（海外たばこ事業）	水たばこ/E-Vapor 製品/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む
自社たばこ製品売上収益（海外たばこ事業）	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 （海外たばこ事業）	四半期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計） RRP やリトルシガー等を含む。
紙巻総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの本数ベースの市場規模（自社推計） リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
紙巻販売数量（国内たばこ事業）	国内免税販売及び中国事業の販売分を除く、JT 紙巻たばこの販売本数 リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
RRP 販売数量（国内たばこ事業）	国内免税販売分を除く、JT の RRP の販売本数（1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算） デバイス/関連アクセサリ等は含まない
リトルシガー（国内たばこ事業）	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品。 たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される。
自社たばこ製品売上収益（国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP、リトルシガー関連の売上を含む
RRP 関連売上収益（国内たばこ事業）	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む RRP の売上（国内免税販売分の売上を含む）
手元流動性	手元流動性 = 現預金 + 短期保有の有価証券 + 現先
有利子負債	有利子負債 短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債
FCF	FCF = 営業活動 CF + 投資活動 CF ただし以下の項目を除く <ul style="list-style-type: none"> 営業活動 CF から、リース取引から生じる減価償却費、利息及び配当金の受取額とその税額影響、リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響 投資活動 CF から、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com